

院生ライフレポート

2024年

第5号(9月)

探究実習が始まりました!!

教職大学院では、修士課程1年次の必修科目として、学部卒業生等学生(以下ストマス)には基盤実習、現職教員等学生(以下現職院生)には異校種実習、関係機関実習が設けられています。各学校や関係機関、地域との連携・協働のもと、授業参観や授業実践、研修等を行いながら、それぞれが自身の研究の観点を深めています。今回は、各コースでの実習の取り組みについて、インタビューを行った内容をご紹介します。



ストマスの基盤実習では、実習校で自分の研究テーマに沿って授業を行わせていただいています。実習校の児童・生徒の実態を見取りながら、授業をする難しさを感じていますが、来年の研究につながるよう努力しています。授業以外でも、掃除や給食、部活動などで児童・生徒とたくさん関わることができ、充実した日々を送っています。

(ストマス・授業実践探究コース)



教育経営探究コースは、佐賀県教育委員会や各市町村教育委員会、教育事務所で、計4週間の実習を行っています。自身の研究テーマに関連した機関での実習は、学校現場では学ぶことのできないことを学ぶよい機会となっており、充実した実習ができています。今回の学びを、現任校での教育実践や研修、また、組織や業務の改善に役立てたいと考えています。

(現職院生・教育経営探究コース)



子ども支援探究コースでは、特別支援学校、教育支援センターなどで、関係機関実習を行っています。児童理解、子ども支援に関する各機関との連携について学んでいます。どの実習先においても、普段経験することのできないことを学ぶことができ、貴重な経験をさせていただいています。現任校の業務、大学院での研究においても、子どもの理解・支援の充実を図れるようにしたいです。

(現職院生・子ども支援探究コース)

キャンプに行ってきました!

8月下旬に、休日を利用して、「熊本宿泊研修~そうだ、夏を満喫しよう!」と題して、熊本県小国町にある「黒川 森のコテージ」にキャンプに行ってきました。台風10号の心配もありましたが、当日は絶好のキャンプ日和でした。1日目は、BBQ や花火をして、夏を感じました。2日目は、遊水峡で川遊びをしたり、大観峰に行き、世界最大級のカルデラを見たりして、熊本の大自然を満喫しました。キャンプを通して、同級生の親睦を深めるだけでなく、日常から離れ、良い気分転換になりました。次回の宿泊研修は、冬に企画しています。その様子も院生ライフレポートでお届けしますので、お楽しみに!!

